事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	6 人	0 人	0 人	7 人

前回の改善計画
ミーティングでの情報は個々で必ず目を通し、送迎などでの家族の関りでわかることも、記録に残して共有していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
全体的に家族との関わりや得た情報については記録、共有できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	6	1	0	7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	6	0	0	7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	3	1	0	7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	3	3	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人、家族との関わりの中、利用後に見えてくる課題等に対してその都度考え支援を行っている。 職員が得た情報は常時共有し、ミーティングを行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人との関係作りが出来るまでの間は、家族や本人の不安・心配事を聞きとるのは難しい。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
引き続き家族や本人との関わりの中、たくさんの情報を聞き少しでも不安を取り除いていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	６人	１人	０人	７人

前回の改善計画
常にファイルを開き、プランで「目標」を確認して支援にあたり、関りの中で希望も聴きとり、支援に繋げていけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
おおむね出来ているが急な状況の変化により、必ずしも達成できたとは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	6	0	0	7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	5	1	0	7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	3	0	7
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	3	4	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の目標を定期的に確認し、本人の目標の達成のお手伝いをしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の目標達成に必要なことがあいまいになっている。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
プランだけでなく、本人との関わりの中でも「～したい」を聞きとり職員間で共有していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	４人	３人	０人	７人

前回の改善計画
会話の少ない方の思いが聴きとれるよう、まず側に座ることからしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
意識はしていたものの、日々の業務に追われ、達成できない日もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	2	5	0	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	5	0	0	7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	5	1	0	7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	5	0	0	7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	5	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
関わりの中、気づいたこと、変化について都度職員で共有できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の状況に合わせた介護がすべてにおいてできているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
もう一度本人に合わせた介護を再確認し実行する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	７人	０人	０人	７人

前回の改善計画
ボランティアの活用や、地域の方との交流の機会を、事業所からも発信していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
オープンカフェ、慰問、将棋等で近隣の方やボランティアの方と関わりあうことができ、また市のおかえりＳＯＳ等の活用もできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	6	1	0	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	6	1	0	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	2	0	7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	0	7	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コロナ禍が周速しきれていない中でも、少しでも面会や行事の中で地域での関係が変わらないように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全ての地域との関わりを持つことはやはり難しい。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
関りが持ちにくい地域などは、民生委員とのつながり等で情報を得ていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	４人	３人	０人	７人

前回の改善計画
小規模多機能のサービスで柔軟な対応を継続して行い、地域の資源が必要な方には、説明し、繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナも５類になり、徐々に終息に向かいつつある中で、今までの不十分な部分を補うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	2	5	0	7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	3	0	0	7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	5	0	0	7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	4	1	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状況に応じて「通い」「訪問」「宿泊」を組み合わせて適宜対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ボランティアや、おかえりＳＯＳ等のサービスは使用しているが、それが地域の資源とは理解できていない職員もいる。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
今活用している地域資源以外の資源も必要に合わせて積極的に活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	３人	０人	１人	７人

前回の改善計画
外部の行事への参加ができるまで、事業所でもオープンカフェなどを開催し、地域との交流を続けていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域の防災訓練や小学校の戦争体験の発表会に参加できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	1	3	3	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	0	6	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	1	4	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	3	0	2	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の高齢者や学校との交わりが、コロナ前の状態に戻ってきている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
訪問できる機会はまだ少なく、活動は完全にできているとは言えない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
現在継続している、オープンカフェや認知症カフェをもっと地域の人に知ってもらう。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	０人	２人	２人	３人	７人

前回の改善計画
運営推進会議に介護職員も参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
人員配置上の問題により、出席できる人数の制限があり達成できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	5	1	1	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	5	1	1	7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	3	3	1	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	3	3	1	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域からの意見を元に、事業所でできる事（散歩コース等）に繋げている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人員配置上、会議に出席できる人数が制限されてしまう。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
地域での介護の拠点となれる様、介護相談会への声かけを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	１人	３人	２人	７人

前回の改善計画
自分でも参加したい研修を調べ、積極的に参加していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
一部の職員は参加できたが、全員の参加はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	5	0	1	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	2	7
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	4	7
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	3	4	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内研修にはほとんど参加できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
外部の研修には数名しか参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
自分でも参加したい外部研修に一つでも参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	2023 年 9 月 24 日（15：00～16：00）
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	５人	１人	０人	７人

前回の改善計画
職員間で個人情報について話す時には、場所や声の大きさを考え、漏れないように注意する。
前回の改善計画に対する取組み結果
個人情報の書類はきちんと管理している。職員間での発言にも注意を配っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	7	0	0	0	7
②	虐待は行われていない	7	0	0	0	7
③	プライバシーが守られている	3	4	0	0	7
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	1	0	4	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	5	0	0	7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待については、重く受け止めしない様に心がけている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個人情報という理解ができていないので、大声て情報交換をしてしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
介護現場での個人情報の管理の仕方を、個々に再確認する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 三重ベタニヤ	代表者	理事長 村上　久
事業所名	いこいの家小規模多機能型居宅介護事業所	管理者	三堀　朱美

法人・事業所の特徴	法人理念はイエス・キリストの愛と奉仕の精神をもって高齢者にお仕えすることです。それを支える柱として（1）敬神と隣人愛をもって、（2）人の価値を行為にではなく、その人の存在そのものに価値を置き、（3）加齢を肯定的に捉え、枯れた美しさを見出す、ことに据えています。 事業所としては、地域との繋がりを大切にし、利用者にとってのもう一つの家のような、個別性を尊重した居心地の良い所となるよう、三位一体（利用者・家族・職員）の温かい絆を大切にし、寄り添った介助・介護ができるよう努めています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	１人	７人	人	人	３人	人	１人	４人	１７人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の 確認	情報を見て、聞いて、伝達ができているか職員間で確認し、実行する習慣をつける。	すべての項目の基本である情報の伝達、共有が確実にできる様になってきている。昨年と取り組み人数が違うことへの質問があったが、全体で取り組めている。	項目で職員の役割によって評価しにくい内容がいくつかある為評価を下げる原因にもなった。 評価の基準の理解が難しい。今後はここの理解を深め、正しい回答ができるようにしないと勿体ない。 現場の職員でこの取り組みは大変である為、評価委員を立ててはどうかという意見があった。	サービス評価の項目や内容の理解が難しいと、地域からも職員からも出ている為、もっと取り組みやすい形について話し合い今後に繋げていく。
B．事業所の しつらえ・環境	玄関を開けて換気をしながらも、温かい空間になるよう季節に合わせて工夫をして、地域の方や子供たちも訪れやすい場所にしていく。	玄関は顔でもあるので、清潔にし必要な情報も設置している。 職員の対応を含め心地よい環境作りを常日頃より心がけている。 鍵をかけず見守りの中、利用者自身でも出入りしやすい様にしている。	事業所に入る機会は少なかったが、環境整備されていた。 訪問時に臭いがする事もなかった。 コロナ禍でも人が入りやすい雰囲気があった。	引き続き玄関に鍵をかけず、利用者の思いを大切にして、安全な環境も整えていく。
C．事業所と地域の かかわり	オープンカフェや運動教室を開催し、地域の方々との交流や相談がしやすい場所にしていく。	オープンカフェは気候の良い時期に年間 6 回、運動教室は年間 24 回の開催で、平均 20 人ほどの参加があり、職員と共に学んだり体を動かした。 コロナ禍ではあったが、学校の委員会の訪問や手紙の交換、手作りの作品を届けて下さるなどの交流ができている。	コロナ禍でも事業所から地域への発信ができている。 できている事も沢山あるのだから、もっとアピールしていくと良いと思う。	認知症カフェ、オープンカフェなどの地域との交流の場をもっと相談しやすい場所として地域に広めていき、情報の交換などで地域との関わりを増やしていく。 回覧板等地域との伝達方法を検討していく。

D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域での昔からの繋がりの中から、感染対策をして外出の機会を少しずつ増やしていく。	季節に合わせた外出を取り入れたり、地域で行われる花火や学校との交流など、事業所との関わりを積極的にしている。 オープンカフェや認知症カフェが様々な相談場所となっている。	（地域）利用者本人が住んでいる地域全部との交流は難しいと思う。 （松阪市）小規模多機能はケアマネが常駐しているので、他のサービスよりは把握しやすいと思う。	カフェや運動教室、介護相談会などの地域との交流の場所の情報発信を積極的に行う。
E．運営推進会議を活かした取組み	地域の方から課題となっている事例を出してもらえるよう声掛けをしていき、事例検討を行う。	コロナ禍でも多い時で 17 名の参加で欠かす事なく会議を開催できた。 事例検討には地域からの提案は無かったが、事業所の事例を検討する機会を持った。	会議には多くの方の出席が常にあり、活発な意見も出ている。 紙面だけでなく、パワーポイントを使っての説明も取り入れている。 運営状況は細かく報告がなされている。	認知症カフェなどを地域の方に必要な資源として、地域包括支援センターや松阪市との協力をお願いし継続していく。
F．事業所の防災・災害対策	事業所の防災訓練への参加をお願いし、福祉避難所についての話し合いも、会議の中でしていけるよう備えていく。	地域の防災訓練に定期的に参加している。 運営推進会議の中で事業所の防災訓練の案内をしているが参加はなかった。 福祉避難所や水害時の避難方法について話し合う時間をもった。	災害時に実際に動ける人が何人いるか、マニュアルがあっても実際に動ける人にかかっている。 BCP の完成の時期についての質問があった。	引き続き地域の防災訓練への参加をし、運営推進会議で事業所の訓練への声掛けを行いながら BCP や福祉避難所運営へ協力をお願いしていく。